



引き続き 体調管理を

6月1日から学校が再開し1か月が経ちました。学校に、元気な子ども達の声が戻り、本来の学校の姿が戻りつつあることと思います。しかし、新型コロナウイルス感染症対策に加え、熱中症対策も加わり、まだ予断を許さない状況ではあります。子どもたちが安心して学校生活を送れますよう、引き続き御指導をお願いいたします。



7月中は児童生徒の登校が続きます。先生方ご自身の体調管理にも気を付けましょう。

【7月の予定】

※ 時間のみ記載の研修会の場所は下野市役所です。

※ ○市教育研究所主催行事 ○市関係行事 ○学校関係行事 ○その他

日	月	火	水	木	金	土
新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、変更となる場合があります。			1 ・小中一貫の日 (南河内中学区・国分寺中学校区)	2 ・特別支援教育研究会(中学校教頭対象→9/15に延期)	3	4
5 ・新規採用教員選考試験【筆記】	6	7 ・道徳教育研修→中止	8	9 ・学力向上担当者研修→中止	10	11 ・新規採用教員選考試験【実技】
12 ・新規採用教員選考試験【面接】	13	14	15	16 ・定例教育委員会	17 ・県健康推進学校表彰審査会 県庁	18
19 	20	21 ・通級指導教室担当者研修 14:00~ ・県南地区小学校体育実技指導者講習会→中止 ~22日	22 ・市支援員研修 15:00~	23	24	25
26 	27	28 ・特別支援教育推進研究 13:30~	29	30 ・図書館教育担当者・図書支援員研修 14:30~ ・市事務職員研修会		

市学習指導法研修会(小学校対象) 6/30 市庁舎にて

各小学校の学習指導主任等を対象に、「市学習指導法研修会」を開催いたしました。小学校の新学習指導要領が実施され、学習評価の在り方も見直しが図られました。先生方と、観点別評価について確認し、目標や指導と一体化した学習評価について共有を図ることができました。



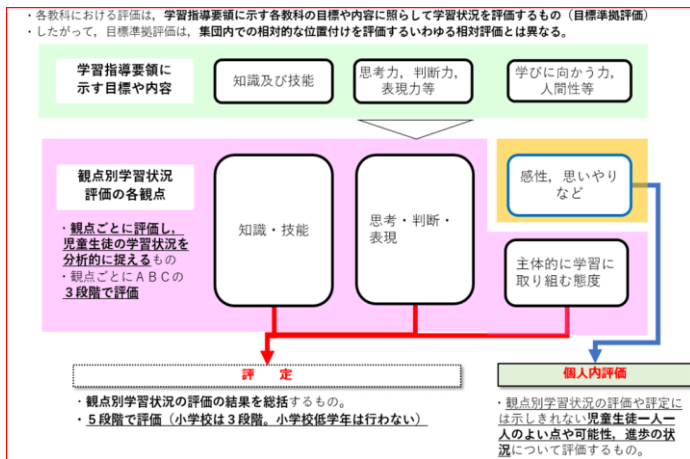
研修に参加された先生方の感想

評価の仕方について具体的な指導場面を用いながら説明があり、分かりやすかったです。校内に持ち帰った時、評価の考え方から取り方、評価する場の設定、評価一覧表の作成等、研修や学年会等で進めなくてはならないと思いました。

お知らせ

学校教育課では、パワーアップ講座として、評価についての講座を計画いたしておりますので、どうぞご参加ください。

学習評価の基本構造



時間	おらい・学習活動	評価規準(評価方法)		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	余りがある場合でも除法を用いてよいことや、答えの見つけ方を具体物や図などを用いて考える。		・思①(行動観察、ノート分析)	・態①(行動観察、ノート分析)
2	余りがある場合の除法の式の表し方や、余りなど用語の意味を知る。余りと除数の関係を理解する。余りと除数の関係を調べる。	・知①(ノート分析)	・知②(ノート分析)	
3	等分除の場面についても余りがある場合の除法が適用できるかを考える。等分除の場面でも、答えの見つけ方を考える。		○思①(行動観察、ノート分析)	
4	余りがある場合の除法計算について、答えの確かめ方を知る。	・知②(ノート分析)		
5	日常生活の場面に当てはめるときに、商と余りをどのように解釈すればよいかを考える。		・思②(行動観察、ノート分析)	○態①(ノート分析)
6	商に1を加える場合や加えない場合について、それぞれ考える。			
7	学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。	・知①②③(ノート分析)		
8	学習内容を適用して除法の問題を考えたり、解決し合ったりする。			○態②(ノート分析)

・指導に生かす評価 ○記録に残す評価

今回の改定で、「評価の観点」が「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三つの観点に変わりました。観点ごとに、「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」を行っていくことになります。単元の中で、「指導に生かす評価」「記録に残す評価」を計画的に配置していくことが大切です。教科の特性により、評価の際の留意事項も少しずつ異なります。『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』に詳しく掲載されていますので、必ずご一読ください。

「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

本参考資料では、学習評価の基本的な考え方や、各教科等における評価規準の作成及び評価の実施等についての解説のほか、各教科等別に単元や題材に基づく学習評価についての事例が紹介されています。本資料を参考とすることで児童生徒一人一人の学習評価及び、学習評価を含むカリキュラム・マネジメントを円滑に進めるための手がかりとなります。下記のリンク先からのダウンロードも可能です。校内研修等での活用をお願いいたします。

国立教育政策研究所 HP「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryoku.html>

